



学校だより

YY-NET 公式サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/mitakedai/>

第399号
横浜市立みたけ台中学校
3月号
令和2年3月2日

春は もうすぐ

校長 濱本 貴康

～ 菜の花や 月は東に 日は西に ～ 与謝蕪村

水もぬるむ春の気配が動き出す、植物の発芽が促がされるという「雨水（うすい）」を過ぎ、ひと雨ごとに暖かくなる今日このごろです。

横浜市立学校では、新型コロナウイルス感染症対策のため、一斉に3月3日（火）から3月13日（金）まで臨時休業となります。早期の終息を祈るのみです。

さて、令和元年度もいよいよ最後の月を迎えます。1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」などといいますが、気まぐれな気候には関係なく、「3月」の声を聞くと学校はより一層慌ただしくなります。

3月11日は、第41回卒業証書授与式です。教育委員会から、新型コロナウイルス感染症対策のため、式典に在校生や保護者・来賓の参加を取りやめ、式典全体の時間短縮の指示が出されました。その中で挙行される卒業証書授与式ですが、生徒だけでなく、保護者・地域の皆様、たくさんの人々の想いを込めた式典が執り行えるように考えてまいります。

3年生は、3年間の中学校生活、そして9年間の義務教育を修了します。夢と希望を持って、力強く、みたけ台中学校を巣立っていきます。一人ひとりが自己肯定感、自己有用感を味わい、楽しく充実した中学校生活であったと思ってもらえるならば、こんな幸せなことはありません。それぞれの進路先で主役となるには少し時間が必要ですが、いずれは月が煌々と輝くように、自分なりの輝きを新天地で見せてくれることを期待しています。

1・2年生は2月12日～14日に学年末の定期試験、2月20日には横浜市学力・学習状況調査が実施されました。それぞれの学年にとっては、「学習のまとめ」「生活のまとめ」と「進級の準備」の時期です。この一年間の一人ひとりの成長と集団の成長を振り返り、新しい年度を迎えてほしいと思います。

この1年、地域・保護者の方々のお力添えやご意見をいただきながら、学校運営を行ってきました。1年生の職業講話・2年生の職場体験・3年生の模擬面接などのキャリア教育も充実し、地区懇談会や地域行事、学区小学校との交流も益々盛んになりました。

子どもたちは、日々、落ち着いた雰囲気の中、教職員とともに、授業や学校生活に臨むことで、行事や部活動に、生徒会活動や学級・学年活動に新たな伝統を築き、大きな成果を残してくれました。

さらに、学校という場を通して、「あいさつ・感謝・思いやり」を持って、一人ひとりが様々な力をつけ、「共に生きる」心豊かな人に成長してくれると確信しています。

最後になりましたが、この1年間、本校の教育活動を支えてくださいました学校運営協議会委員の皆さま、保護者・地域の皆さまに厚く御礼を申し上げます。来年度も、地域とともにある学校として、温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

生徒会小学校訪問

2月3日(月)は鉄小、4日(火)はみたけ台小に生徒会本部役員が小学校訪問を行い、5年生を対象に中学校の紹介をしました。

本校の生徒会にはどんな委員会があり、どのような活動をしているのかを伝えたり、学校のことを知ってもらうためのクイズを行ったり、部活動紹介ビデオを映したり、標準服やジャージの試着体験を行ったりしました。質問タイムでは、児童のみなさんからたくさんの質問があり、関心の高さがうかがえました。

『中学校に行くのが楽しみになった』という感想をもってくれた人もいて、とても有意義な会となりました。



百人一首大会

1・2年生は、2月26日(水)に、3年生は27日(木)に百人一首大会を行いました。

各学年とも、国語の時間や学活の時間等を利用して練習に取り組んできた成果を発揮しました。

2年生は、その他に学年上位者6名による代表者戦を行い、白熱した取り組みを行いました。

1年生は、1組が優勝しました。個人では、松本優里さんが111枚で1位、2位は太田羽奏さんで105枚、3位は黒岩夏希さんで100枚でした。

2年生は、3組が優勝しました。代表者戦は、佐藤りんさんが48枚で1位、矢崎寛人さんが46枚で2位でした。一般部門1位は、松村亮太郎さんで107枚、2位は佐藤夕凧さんで97枚、同じく2位は森内貴之さんでした。

3年生は、3組が優勝しました。個人では、太田彩葉さんが109枚で1位、小松春さん101枚で2位、村上翔音さんと上田琉璃さんが97枚で3位でした。

